

3 月度 例会 個人 山行報告書	報告者	春口	参加 メンバー	CL:金子、津田、春口 全豊田各社メンバー
	報告日	04/10		
山 域	野伏ヶ岳	山行日	13年 03月 30日 (土) ~ 13年 03月 31日 (日)	
山 名	野伏ヶ岳			

山行目的	全豊田雪上訓練	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	---------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図 :

03/30 (土) 晴れ	03/31 (日) 曇り-雨
5:50 刈谷発	3:30 起床
7:30 白鳥着	5:20 テント場発
8:10 ヒノキ峠着	6:20 アイゼン装着
8:20 白山中居神社着	7:25 野伏ヶ岳山頂着
8:50 開会式	8:00-8:30 アイゼン歩行訓練
9:15 白山中居神社発	9:00 テント場着
10:15 一本	9:00-9:30 片付け
11:15 テント場着	10:45 白山中居神社着
12:20-12:40 滑落停止訓練	11:10 満天温泉着
13:20 一本	12:20 食事
14:20 野伏ヶ岳山頂着	16:00 刈谷着
15:00 テント場着	
15:30-19:00 食事 (宴会)	
19:00 各社テント	
20:30 就寝	

〈山行報告〉 早朝、デンソー代表メンバー3 人が集合し、金子ハリアーで刈谷を出発。今回初の全豊田雪上訓練ということで、不安と期待の気持ちを抱きつつ、車内で初の山行メンバーとの会話を楽しみながら石徹白へと向かった。白山中居神社に到着後、開会式が行われ、実行委員長&各社メンバーの挨拶 (自己紹介等) があった。自分は若々しさをアピールした。そうして白山中居神社を後にし、一先ずテント場へ向かった。快晴で暖かい天候の中、テント場まではシュラフや共同装備を背負った為、汗を大量に掻いた。しかし疲れはあまり感じず、体力がついてきた事を実感した。テント場に到着後、中研の中山さんに滑落停止訓練を実施して頂いた。その後、軽装で再び登り始めた。ダイレクト尾根を進み、急傾斜の箇所ですこし息が上がったが、山頂まであつという間に着いた。この日は天候に恵まれていて山頂では展望が良く、白山や別山、荒島岳等周りの山々が一望出来た。山頂での景色を楽しんだ後下山し、テント場では各社メンバーで輪になっての宴会。各社、準備したお酒や料理をお裾分けし合った。

我が社では、津田さんがポトフを用意。とても美味しく、他社でも人気だった。その後山の歌を合唱、テントの中でも優しい先輩に指導を受けながら「北岳の唄」を熱唱し、就寝。翌日は東尾根を進み、再び山頂へ。行きと帰りにはアイゼンの歩行訓練等実施して頂いた。下山途中で雨が降り出し、テント場

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に
野伏ヶ岳山頂にて (後方白山)



確認 (リーダー)
金
13/04/08
子
作成 (報告者)
春
13/04/05
口

〈リーダー所見〉
主にアイゼン歩行、滑落停止、ザイルを使った確保訓練等を実施した。今回、全豊田雪上訓練 初参加の春口は積極的な行動で雪上技術を学んだ。そして懇親会でもポトフを全員に振る舞いながら顔と名前を売っていた。今後の部内、全豊田岳連での活躍を期待したい。